

TS-M2M-0033v3.0.0

拡張セマンティック適用の検討

Study on Enhanced Semantic Enablement

アブストラクト：

本検討では、拡張セマンティックの要件とその要件の対処法の議論と展開を行った。

この目的は、oneM2M 参加メンバーの合意と技術仕様書を作成することであった。

目次：

1 章 所掌範囲（目的）

本書では、oneM2M のセマンティック機能に関して提案された各種ソリューションについて論じる。本書で採り上げられているソリューションは、oneM2M リリース 3 におけるセマンティクス関連の要件を満たすものである。合意されたソリューションをそれに適合する oneM2M 技術仕様書に反映させるに当たり、本書がソリューション選択の基礎となる。なお、基準仕様の策定が進むにつれて、本書の記述と oneM2M 技術仕様書（基準仕様）との間に、齟齬が生じる可能性もある。

2 章 定義、略語と頭字語

3 章 表記法

4 章 要件

アブストラクトとセマンティックの要件がリストアップされている。

5 章 セマンティックモデルとオントロジ

oneM2M におけるセマンティックとオントロジの考え方の要約されている。

6 章 セマンティックアーキテクチャ

CSF におけるセマンティック機能、セマンティックのリソース、インプリメントオプション、アクセスコントロールが解説されている。

7 章 セマンティック機能

セマンティックのアノテーション、バリデーション、フィルターなどの各種機能が解説されている

8 章 まとめ

リリース 3 における oneM2M がサポートするセマンティック機能に関するまとめが記載されている。

Abstract :

In this study requirements on enhanced semantic enablement and approaches for addressing these requirements will be developed and discussed. The intention is to achieve agreement between the interested participants on the approaches to be pursued in oneM2M. On this basis normative contributions to Technical Specifications can then be made.

Scope :

The present document discusses proposed solutions for semantic oneM2M features. The solutions covered fulfil requirements related to semantics that have been identified for oneM2M Release 3. It serves as the basis for selecting agreed solutions, which are then put into the fitting oneM2M Technical Specifications. Due to the progress of normative work, there may be inconsistencies between what is described in this document and the normative oneM2M technical specifications, which take precedence.